



日本共産党の3議員含め新議会が始動

新型コロナ対策特別委員会がさっそく対策を討議

新議会が日程前倒しで始動

12日、先月の市議会議員選挙で選出された新しい議員による初議会が開催され、市議会が本格的に始動しました。今回は女性7人を含む9人の新人議員を加えてのスタートです。

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るう中、通常は5月後半に行われる臨時議会を前倒しして開催し、市民の負託に即時に応えることを目指しての始動です。

日本共産党議員団は、選挙後すぐに全議員に向けて「コロナ対策で、大型連休を返上しての臨時議会開催も視野に入れた一刻も早い対応を」と訴え、この日の開催のために努力しました。

上野公悦議員が

文教経済常任委員長に就任

この日行われた各委員会の構成と正副委員長の選出で、上野公悦議員が文教経済常任委員会の委員長に選出されました。

上越市議会史上、日本共産党の議員が常任委員会の委員長に選出されたのは初めてのことで、

新型コロナ特別委員会が

さっそく今後の対策を討議

本会議後、市議会はただちに全員協議会を開催し、新型コロナ問題に対する上越市としての取組の詳細の報告を受けました。

この報告を受け、全会派からの総意で設置された「新型コロナウィルス調査対策特別委員会」（上野公悦議員所属）がさっそく委員会を開催し、今後の対策について討議しました。

討議では、上野議員が「これまでに各議員が市民の切実な声を聞き取っている。同時に、いろいろな分野の市民との懇談を行い、実情を把握することも重要だ。そうした声を持ち寄って提言をまとめ、すぐに提出するべきだ」と冒頭に指摘しました。これらのことを受けて、委員会は各議員の情報を持ち寄って15日に再度開催することになりました。

4公約で挑戦

橋爪法一議員 議長選挙に挑み 改革を訴え

橋爪議員は、新しい議会本会議の冒頭に行われた議長選挙に挑戦し、選挙前の所信表明で4つの点での改革を訴えました。

その第一は、新型コロナウイルス問題のよくな事態にも即応できる「通年議会」の実施、二つ目は、行政執行を監視し評価するための、議会と行政との緊張関係の維持、3つ目は、議員全員の知恵と力の結集、そして4つめは議会報告会と市民との意見交換会の改善です。

選挙の結果、対抗馬の飯塚義隆議員が議長に選出されましたが、橋爪議員の議会改革をめざす訴えは、市民の日頃の思いを代弁した訴えでもあることから、新議長の職務執行にも影響を与えることでしょう。

上野議員などが大潟区で実情把握の懇談

5月7日、上野議員など大潟区に関係する4人の議員が、鵜の浜温泉組合、大潟観光協会、大潟飲食店組合、大潟商工会の各代表と、新型コロナウイルスによる暮らしや営業などへの影響を把握する懇談を行いました。

参加者からは、「実入りが全然ない。企画を打つこともできない。いつつぶれてもおかしくない」「(貸付金などは申

請しても)ともかく遅い。もっと速くしてほしい」「他市町では真水の交付金を出している。こういうものがほしい」「個人事業者はギリギリのところまできている。会社と同じように見てほしい」などの要望が相次ぎました。

上野議員は、これらの要望をつぶさに行政に反映させていきたいと意気込んでいます。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.657 2020年5月17日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)